

令和4年 鳥取市教育委員会 2月定例会 会議録

1 日 時 令和4年2月28日（月） 13時30分 から

2 場 所 鳥取市役所本庁舎 6階 第5会議室

3 出席者

教育長 : 尾室 高志
教育長職務代理者 : 藤井 喜臣
委員 : 前田 哲雄
委員 : 山脇 彰子
委員 : 畑 千鶴乃

〔事務局〕

副教育長 : 岸本 吉弘 次長兼学校教育課長 : 安本 雅紀
次長兼教育総務課長 : 横尾 賢二
生涯学習・スポーツ課長 : 中原 登
文化財課長 : 佐々木 敏彦 学校保健給食課長 : 山根 ちはる
中央図書館長 : 長本 次郎 教育センター所長 : 安田 直人
さじアストロパーク所長 : 宮本 敦 学校教育課参事 : 須崎 ひとみ
教育総務課長補佐 : 入江 卓司

〔傍聴者〕 なし

4 会議次第

○行事報告及び行事予定について [教育総務課]

【審議事項】

(1) 議案第2号 鳥取市教育委員会事務決裁規程の一部改正について [生涯学習・スポーツ課]

【説明・協議事項】

(1) 鳥取市教育委員会事務の自己点検・評価報告書について [教育総務課]
(2) 気高地域学校統合準備委員会での検討結果について [教育総務課]
※鳥取市教育委員会会議規則第14条第1項に基づき、公開しないこととします。
(3) 鳥取市視覚障がい者等の読書環境の整備推進に関する計画（鳥取市読書バリアフリー計画）の策定について [中央図書館]

【報告事項】

- (1) 市指定文化財三角山神社本殿の火災について [文化財課]
- (2) 協働のまちづくりガイドラインの策定等について [生涯学習・スポーツ課]
- (3) 学校・児童クラブ等における新型コロナウイルス感染症の対応について [学校教育課]

【先回定例会の議事録】

【その他】

- (1) 次期定例教育委員会の開催について
 - [3月] 令和4年3月28日(月) 13:30～鳥取市役所本庁舎6階 第5会議室
 - [4月] 令和4年4月22日(金) 13:30～鳥取市役所本庁舎6階 第5会議室

5 会議概要

13時30分 開会
尾室教育長 あいさつ

- 行事報告及び行事予定について
教育総務課長(資料に基づき説明する。)

【審議事項】

- (1) 議案第2号 鳥取市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
生涯学習・スポーツ課長(資料に基づき説明する。)

※原案のとおり承認された。

【説明・協議事項】

- (1) 鳥取市教育委員会事務の自己点検・評価報告書について
教育総務課(資料に基づき説明する。)

【質問】

(藤井委員)

22ページにあるようにこの報告書を議会に出されて、公表されるということは、

HPに載せられるのだとおもいますが、個別の表も載せられるのですよね。

(教育総務課長)

はい。

(藤井委員)

55ページと56ページを見ていただいて、これは中山間地域ふるさと体験活動支援事業で、佐治でやっておられるものですが、56ページの学識経験者の所見というところで、先生の評価と意見が合わないと感じる部分があります。この評価では鳥取の子どもはこの体験事業をしなくてもいいのではないかというような意見に読み取れます。例えば首都圏や京阪神などの都市部の児童生徒が対象であれば理解できるけれど、鳥取には豊かな自然があるのであまりしなくてもいいのではないかというような評価があります。おそらく市内でも佐治とは全く異なる環境の地域の子どもさんもおられると思うので、私は効果があるのではないかと思います。それで、よく考えてみると、このシートがすこし良くないのかなと思います。学識経験者の所見で終わっているんで、これが最終評価のように読み取れるのですよね。それで、例えばPDCAサイクルの話であっても、8番の今後の課題、方向性のようなことは、そこまで含めて評価してもらっているかというようなところがあって、所見の後に、それを受けて教育委員会としては今後どうするのかということがないと誤解を生んでしまうのではないかなと思います。鳥取市教育委員会としてこの評価を受け止めてそうですねといったように思われそうな気がしますので、この書式を直さなければいけないのではないかなと思います。今年についてはもう終わってしまっていることなので、来年に向けて少し考えていただきたいなと思います。

(教育総務課長)

藤井委員の言われたとおりだと思います。松村先生が総評で言うておられるように自己点検・評価方法の改善を期待したいということもありますので、来年度以降はそういった点を踏まえまして市教育委員会としての方向性についても書き入れるよう書式を工夫してみたいと思います。

(前田委員)

これがこの会の後HPに載るということですが、新しい分の評価指標の時はいろいろと聞かせていただいたのですが、これについて下にある評価指標がどうだったかということあまり対応しているわけではないので、重要なものだけということ、おそらくこの分は別の項目になっているのではないかなと思うのですが、こちらの評価がどうだったのかということは公表されるようなことがあるのでしょうか。

(藤井委員)

これは2年度についての事業について評価されているのですよね。

(教育総務課長)

はい。

(前田委員)

ではトータルでこの期間の事業がどうだったのかということが公表されるようなことはあるのですか。

(教育総務課長)

今回のものは教育振興基本計画自体の評価というよりはその中の抽出した事業についての評価ということですので、教育振興基本計画自体の評価とはまた別になります。

(前田委員)

わかりました。教育振興基本計画と同じ評価指標があがっているところもあれば、ほとんどの評価指標をとりあげていないところもあって、教育振興基本計画自体の評価についてはまた何か別で公表されるような機会があるのかなと思いました。

(教育総務課長)

そうですね。進捗状況についてはチェックしながら別で評価していきたいと思えます。

(山脇委員)

これは2年度の事業についてですよね。普通は、例えば中間の3年間くらいを総評するようなかたちだと思うのですが思ったより細かく評価をされているなと思いました。見る側としては、去年のもならわかりますが、その前の年のことですので、先ほど前田委員がおっしゃったように、冊子と見比べてというのもなかなかしづらいところもあると思います。評価に関しては教育委員会だけの問題ではなくなってくると思います。全体的に、全然関与してない人が見たときにわかりやすいような評価の仕方、期間のくくりというものについても考えていただけたらと思います。

(教育総務課長)

ありがとうございます。その辺りも参考にさせていただいて、どういった形で進めていくのがよいのか考えていきたいと思えます

(3) 鳥取市視覚障がい者等の読書環境の整備推進に関する計画（鳥取市読書バリアフリー計画）」の策定について

中央図書館（資料に基づき説明する。）

【報告事項】

(1) 市指定文化財三角山神社本殿の火災について

文化財課長（資料に基づき説明する。）

【質問】

(2) 協働のまちづくりガイドラインの策定等について

生涯学習・スポーツ課長（資料に基づき説明する。）

【質問】

(藤井委員)

これは協働推進課が取りまとめられたということですよ。

(生涯学習・スポーツ課長)

はい。

(藤井委員)

これはお願いになるのですが、この間の総合教育会議の時に、深澤市長が重層的支援体制ということは何回か言っておられたのですが、あれは福祉の方の考え方の中に、例えば子どもや高齢者や障がい者が1つ1つの個別課題ではなくて、総合・複合的な課題があるのでそれを考えなければいけないのではないかということですよ。例えば、介護をしている人に子どもさんもおられて、その子が引きこもりであるとか不登校であるというようなケースを考えると、介護だけの問題ではなくて家族としていろいろな問題があるのでそういったところの情報をキャッチしながら考えていかなければいけないというような考え方なのですよ。ですから、おそらくこれからの公民館の役割というのは、高齢化が進む中で福祉と切り離せないようなことが出てくるので、そういった視点がきっと入ってくると思うのですが、教育委員会としては、子どものことで地域運営協議会や学校の考え方もありますのでそういったことを考えていただきたいと思います。

それから、これはどちらかというと地域福祉の話なのですが、地域や集落単位でどこにどんな方が住んでおられて、どういった方が避難するときに障害があるかということ事前に把握しておくために、防災マップを作っておられます。おそらく市の社会福祉協議会が窓口になっておられるか、福祉関係の課が担当しておられると思います。これが意外と旧市内では進んでいません。やっているところとそうでないところがあって、特に郊外の、例えば美保南地区などの新興住宅地は進度が遅いです。町内会で配布される町内の地図などでも、基本的に名前が書いてありません。それは個人情報保護の観点で非常に難しいところがあるのですが、なるべくこういった取り組みを進めましょうといった観点がないと、いざという時に何も役に立たないので、こういったことも進めていく方向で話ができないのかなと思います。

(生涯学習・スポーツ課長)

藤井委員のおっしゃるように、自治会の加入率もかなり下がってきておまして50パーセントくらいではないかと思います。特に新興住宅地につきましては、自治会への加入率が低い傾向にありますので、福祉や防災面で弱いところが出てきってしまうという課題があるということで、現在協働推進課と話をしているところです。

(藤井委員)

防災マップをつくるといったように、何か行動を起こさないと難しいなど言っているだけで終わってしまうような気がして心配しています。

(生涯学習・スポーツ課長)

そうですね。具体的に何か取り組みがあれば、それに向けて取り組むと思います

が、漠然と加入率が低いということではなかなか進まないと思います。

(藤井委員)

割り切って考えれば、少なくとも同意をする人だけでもそういったマップを作成してはどうかと思います。同意されない人がマップに載ることは本人に対して難しいと思いますので、どこかで割り切ってやらないとしょうがないのかなと思うようなこともあります。

今、個別避難計画というのを国が求めておられるそうです。障害のある方などが、いざというときに誰がこの人をどのように避難させるかということまで作成してくださいというような話があるそうです。

(山脇委員)

私の住んでいる地区の町内会では、高齢の方や足の不自由な方など、1人では避難が難しい方については誰が補助するかというのがある程度決まっています。

(藤井委員)

山脇委員がお住まいの地域のようにある程度きちんとできているところと、そうでないところとがありますね。

(尾室教育長)

実態はいかがですか。

(教育総務課課長)

おっしゃるように地区によってかなり温度差があります。「ふれあいマップ」は社会福祉協議会が中心となって進めていただいていますけれども、自主防災組織がしっかりしているかどうかということで、要援護者の連絡先などもしっかりされているところでは把握して、どの方に誰がつくかということを決めておられます。ただ、先ほど自治会の組織率がだんだん下がってきているというお話がありましたが、逆に自治会は組織しないけれども、自主防災会は組織するというような地区も出てきておりまして、やはり災害は重要であるということで、そちらの方の意識は割と高くありますので、現在危機管理課と福祉部門とで連携して、高齢者、障害のある方の避難をどうしていくかということを進めているとことです。

(藤井委員)

こういったガイドラインをつくる時にも、そういったことも盛り込んだ方がよいのかなと思いました。

(山脇委員)

求めるところをどこのレベルにするのかということを決めてやらないと現在のように地域で差が出てくるのだと思います。

(藤井委員)

何か行動に移すと意識も変わってくるかもしれませんが、難しいと思っているだけではこれからが大変かなと思います。

- (3) 学校・児童クラブ等における新型コロナウイルス感染症の対応について
学校教育課長（資料に基づき説明する。）

【先回定例会の議事録】

【その他】

- (1) 次期委員会の開催について

[3 月] 令和 4 年 3 月 28 日 (月) 13 : 30 ~ 鳥取市役所本庁舎 6 階 第 5 会議室

[4 月] 令和 4 年 4 月 22 日 (金) 13 : 30 ~ 鳥取市役所本庁舎 6 階 第 5 会議室

教育長 以上で 2 月 定例教育委員会を終了します。

閉会 1 4 時 4 5 分